



中国科学院との研究協力協定を締結、連携シンポジウムを開催

産総研は、全人類、全地球的立場から、「持続可能な発展」を実現するためには産業科学技術の更なる発展が不可欠であるとの基本認識の下に、先端技術分野から社会基盤分野に至る研究分野で研究開発を展開しています。現在のように経済をはじめあらゆる分野でグローバル化が進展している状況下では、「持続可能な発展」を我が国のみで実現することは不可能であり、国際協調が必要であることは明らかです。国際協調の一環として、世界中で最も高い経済成長率を誇る東アジア地域の主要な研究機関との連携を模索してきましたが、この度、中国を代表する研究機関である中国科学院との包括的研究協力協定を締結するに至りました。

中国科学院は、中華人民共和国成立直後の1949年11月に設立された中国における科学技術の最高学術機構で、部（省庁）に相当する国家機関です。基礎研究、生物科学、資源環境、ハイテク、その他、ほぼあらゆる研究領域をカバーしています。職員は研究員その他あわせて約5万人弱、傘下に全国各地に分布する84の研究所、大学や文献情報センターなど10数箇所の付属支援機構を有し、さらに、430余の科学技術型企業を設立・投資しています。

研究協力協定調印式は、2004年5月19日、産総研・吉川弘之理事長と中国科学院・路甬祥院長同席の下、産総研臨海副都心センターにて行われました。

協定締結を記念して、同日、東京・お台場の日本科学未来館において産業と研究の連携を重点テーマとする「産総研・中国科学院 連携シンポジウム」が開催され、中国との連携に関心を持つ企業などから約200人の参加がありました。

本シンポジウムでは、路院長の「人と自然の調和の取れた発展に関して」、吉川理事長の「人類の持続的発展のための科学者の役割」と題する基調講演が行われ、ともに「可持続発展」「持続可能な開発」をキーワードとし、これを実現するための科学者・研究機関の役割について述べられました。引き続き、中国科学院科技政策局・田洛副局长の講演「中国科学院 - 概況、知識イノベーションプログラム、人材育成」では、中国科学院の歴史的な概要、1998年から始まった国家規模で科学技術分野の効率化・レベルアップを目指す「知識イノベーションプログラム」の中国科学院における状況、中国科学院での人材育成重視の状況などが紹介されました。産総研・吉海正憲理事の講演「産総研と新産業創造」では、工業技術院から産総研に至るミッションの変容、研究成果の産業化と新産業創造の理念、産総研と中国科学院の交流の意義や具体案などが述べられ、中国科学院高技術産業発展局・趙勤局長の講演「中国



産総研・中国科学院 連携シンポジウムの様子

科学院の中国ハイテク産業発展促進状況紹介」では、中国科学院が研究成果の産業化促進を重視している状況、中国科学院からスピンオフして中国を代表するIT企業に成長した「聯想集団」などの実例が紹介されました。最後に、日立マクセル株式会社取締役会長・前総合科学技術会議議員の桑原洋氏による特別講演「産総研と中国科学院の研究協力への期待」では、両機関の連携の意義、具体的な協力内容の提言などを通じて連携への期待が述べられました。今回のシンポジウムは、特に企業からの参加者にとってたいへん有意義であったと思われます。

路院長一行は来日中、産総研つくば、臨海副都心両センターでの研究現場視察、産総研幹部との意見交換、さらには、中川昭一経済産業大臣をはじめとする日本の政界・学界要人との会見を精力的にこなされました。

今回の包括的研究協力協定を機に、今後、両機関間での具体的な研究協力が進展することが期待されます。



タイ王国商務副大臣一行がつくばセンター視察

2004年5月27日にタイ王国商務バンブリ・バヒダハースカラ副大臣(写真右)一行がつくばセンターを視察されました。



曾良理事より歓迎の挨拶に続き、タイ王国側からバンブリ・バヒダハースカラ副大臣が挨拶されました。タイ王国は日本の産業技術に高い関心を有しており、今回、産総研を訪問されたとのお話がありました。その後、産総研の概要説明、バイオテクノロジーの研究説明、エネルギー分野の研究説明、ナノテク・材料分野の研究説明が行われました。研究現場視察では、太陽光発電研究サイトと、ダイヤモンド研究センターの見学が行われ、人工合成された薄膜ダイヤモンド等をご覧になりました。

研究現場視察後、産総研における知的財産管理とライセンシングシステムについての説明が行われ、活発な質疑応答が繰り広げられました。



第1回つくば国際コーティングシンポジウム開催

2004年5月17日、産業技術総合研究所、物質・材料研究機構、独 Helmut Schmidt 大学の共催で、「第1回つくば国際コーティングシンポジウム」が、物質・材料研究機構研究本館第1会議室において開催されました。ドイツ、イギリスを中心とした海外からの参加者を含む、85名の参加がありました。



Helmut Schmidt 大学からは、Cold Spray を中心に、Kreye 教授はじめ4件の講演があり、産総研からは、先進製造プロセス研究部門の Aerosol Deposition、ナノカーボン研究センターの Pulsed High Current Arc Plasma、エネルギー利用研究部門の Nano Structured Coating 等、新しいコーティングプロセスを中心とする6件の研究発表が行われました。内外を合わせて全部で19件の講演があり、活発な討論が行われました。翌18日には、産総研、物質・材料研究機構の見学会も行われ、多数の参加者が訪れました。

今後も、海外の著名な研究者を招き、つくば地区を中心にコーティングに関する討論・研究交流の場として、本シンポジウムを続けていきたいと考えています。



アジアナノテクフォーラム会議開催

2004年5月10～11日、ブーケットにおいて、産総研とタイ National Science and Technology Development Agencyとの共催で会議「Asia Nanotech Forum Summit (ANFoS2004)」が開催されました。日本、タイ、オーストラリア、中国、香港、インド、韓国、マレーシア、シンガポール、台湾、ベトナムの研究者や政策立案者約50名が一堂に会し、各国の研究動向、重点研究領域、国際協力等に関する討論が行われました。会議ではタイ科学技術相である Korn Thapparansi 氏も講演を行いました。



今後も産総研を中心としてネットワークを維持すること、次回の会議を中国で開催することなどが決定されました。

引き続き、12日にバンコクに会場を移して「Thailand Nanotech Business Forum for CEOs」を開催し、タイ内外の企業関係者を招いてナノテクノロジーとビジネスとのかかわりに関する講演とパネルディスカッションが行われました。



第2回人工筋肉コンファレンス開催

2004年5月20日、21日、産総研関西センターにおいて、産総研セルエンジニアリング研究部門、および理化学研究所バイオミメティック・コントロール研



究センターが主催する国際コンファレンス、第2回人工筋肉コンファレンスが開催され、内外の企業、大学、公設機関及び産総研から172名の参加者がありました。前回に続き、今回のコンファレンスの開催も産総研が人工筋肉の世界的研究開発拠点として認知されることに大きく貢献するものです。

高分子アクチュエータの材料研究、ロボットシステム研究、バイオシステム研究の三つの視点からの最先端の研究発表（招待講演10件、一般講演13件、ポスター発表10件、企業展示3件）について、2日間にわたり熱心な議論が続きました。産業界からの関心も高く、この分野の今後の発展が期待されます。

つくばセンターアイコン 産総研・一般公開のお知らせ



日時：平成16年7月24日(土)
9時30分から16時30分まで
場所：〒305-8561 茨城県つくば市梅園1-1-1 ほか
問い合わせ先：成果普及部門 広報出版部 広報室
TEL 029-862-6214

「科学の力」



●特別講演

[宇宙の科学]
毛利 衛 宇宙飛行士
(日本科学未来館 館長)



●地質標本館特別講演

[メタンハイドレートを未来のエネルギー資源と
とらえて]
辻 喜弘 博士
(独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)

●科学教養講座

どのくらい危険なの?
—水道水、狂牛病、自動車排ガス—
中西 準子 博士
(産総研・化学物質リスク管理研究センター)



血液型と糖鎖
—血液型って50種類以上もあるんですよ—
成松 久 博士
(産総研・糖鎖工学研究センター)



●サイエンス実験ショー（2講座）

小学生高学年から中学生を対象として、自ら
作ったり考えたりする科学実験を体験できるコ
ーナーです。（要予約）

●Dr.サイエンスライブ

高校生を対象とした分野別若手研究者とのディスカッション及
び研究室見学を行います。

●研究成果コーナー（27テーマ）

産総研の研究ユニットの研究成果や企業等との
共同研究による研究成果を分かりやすく楽しく紹
介するコーナーです。注目の出展として、酸素の
ナノバブルに富む水中で鯛と鰯が一緒に泳ぐ姿が
見られます。



●チャレンジコーナー（17テーマ）

小学生を対象とした、見たり触ったり作ったりして楽しめる科
学の体験ができるコーナーです。皆さんチャレンジして下さい。

●施設見学ツアー（Aコース/Bコース 各コース3箇所）

普段は入ることのできない研究所の特殊な実
験施設を特別に公開します。ツアーで無響室、残
響室、光学トンネル等を見学できます。

●くらしとJISセンター

常設展示のJISパビリオンの他、工業標準に関する研究成果を
詳しくご紹介します。

●地質標本館

常設展示物の他、今年は「メタンハイドレート」についての特
別展示を行います。

●サイエンスマジック

産総研の研究成果等による研究成果を展示しています。



日時：平成16年8月7日(土)
9時30分から16時30分まで
場所：〒062-8517 札幌市豊平区月寒東2条17丁2-1
問い合わせ先：北海道産学官連携センター
TEL 011-857-8428

「科学の不思議をキミの手で!!」

開催内容

●わくわくサイエンス実験ショー

- ・DNAってどんなもの？
- ・ハイドレートってどんなもの？ 他

●特別ゲスト

- ・はんこ名人21
—自分の絵がはんこになる！—

●おもしろ体験コーナー

- ・潜る金魚を作る！
- ・光るスライムを作る！
- ・モーターを作る！
- ・のぞいてみよう小さな世界！
- ・岩石鑑定団

●研究紹介コーナー

- ・当センターの研究内容をわ
かりやすく紹介します



日時：平成16年8月21日(土)

10時から16時まで

場所：〒983-8551 仙台市宮城野区苦竹4-2-1
問い合わせ先：東北産学官連携センター

TEL 022-237-5218

「不思議がいっぱい サイエンスマジック」

開催内容

●特別ゲスト ギネス公認！！ 癒し系ロボット「パロ」

●特別ゲスト Mr. マサック 「超能力マジックの実験」

●Dr. 産総研のおもしろ科学講座

●サイエンス実験ショー

●実験・体験コーナー

●研究紹介展示コーナー

●（併設）昭和の工芸ギャラリー 「近代工芸・デザインの発祥地—仙台」



日時：平成16年7月24日(土)

10時から16時まで

場所：〒463-8560 名古屋市守山区下志段味
穴ヶ洞2266-98

問い合わせ先：中部産学官連携センター

TEL 052-736-7064

開催内容

●体験コーナー

●展示コーナー

- ・液体の分離を利用した万華鏡
- ・金属とセラミックスを学ぼう

- ・高機能光触媒とその応用製品

- ・加熱酸化によるカラードチタン
- ・現代に生きる鋳物技術

～色々な鋳物～

- ・雲のかけら？凍った煙？

～エアロゲルの不思議～

- ・植物の元気薬で地球に緑を

EXPO 2005 AICHI,JAPAN

紹介コーナー

●おもしろ科学講座

●熱と電気の不思議な関係

～お湯で発電できる？～

・日本の風車と世界の風車

～風車が地球を救うってホント？

～風の谷のナウシカみたい！～

●研究室の公開



つくばセンター電話番号変更のご案内

**関西
センター**
(池田会場)

日時：平成16年 7月30日(金)
10時から17時まで
場所：〒563-8577 大阪府池田市緑丘1-8-31
問い合わせ先：関西産学官連携センター
TEL 072-751-9606

「夢がいっぱい おもしろ科学」

公開内容

●実験・体験コーナー

- ・電池作り教室
- ・無重力を体感する
クイズに答えて賞品をゲットしよう
- ・ガスからダイヤモンドを作る
- ・メダ力観察
- ・テレビ石って何だろう
- ・ビタミンCで発電しよう
- ・錯視と錯聴の実験
- ・見つめタイガー

- ・ヒヤリ・ハット体験
- ・化石と断層
- ・暮らしと計量
- ・テレビ会議システムによる
池田＜＞尼崎通信
- 施設見学
- ・透過型電子顕微鏡
- ・光材料技術研究グループ
- ・デバイス機能化技術研究グループ
- 子供向け科学講座

**関西
センター**
(尼崎会場)

日時：平成16年 7月30日(金)
10時から17時まで
場所：〒661-0974 尼崎市若王寺3-11-46
問い合わせ先：尼崎事業所 業務推進室
TEL 06-6494-7854

「夢がいっぱい おもしろ科学」

公開内容

●実験・体験コーナー

- ・バイオプリントごっこ
- ・ニオイを嗅ぎ分ける
- ・プログラミング体験
- ・脳と感覚の情報処理
一速いか、遅いかー
- ・身近な食べ物からDNAを
取ってみよう
- ・テレビ会議システムによる
尼崎＜＞池田通信
- 子供向け科学講座
- ・歯は一生使うもの

- ・骨と健康
- ・デジタル技術の誕生物語
- ・筆算のからくり
- 展示コーナー
- ・セルエンジニアリング研究部門
TERC全体紹介
- ・ナノテクノロジーで細胞を操作
する
- ・セルプロセッシングセンター
での細胞培養
- ・細胞システム超高速自動解
析技術

**九州
センター**

日時：平成16年 7月29日(木)
9時30分から16時30分まで
場所：〒841-0052 鳥栖市宿町807-1
問い合わせ先：九州産学官連携センター
TEL 0942-81-3606

公開内容

●特別ゲスト ギネス公認!!

癒し系ロボット「パロ」

●体験型サイエンス実験ショー

●公開テーマ

●移動地質標本館

●産業技術総合研究所九州

センターの紹介

●なんでも相談コーナー

※公開内容はいずれも予定ですので、変更することがあります。

産総研つくばセンターにおいて、一部の研究関連・管理部門のつくば本部・情報技術共同研究棟移転に伴い、電話・FAX番号が変更になりましたのでお知らせ致します。

部署名	TEL	FAX
企画本部	029-862-6040	029-862-6045
情報公開・個人情報保護推進室	029-861-2177	029-861-2179
規程整備チーム	029-862-6038	029-862-6049
評価部	029-862-6096	029-862-6100
技術情報部門	029-862-6123	029-862-6130
技術政策調査室	029-862-6122	029-862-6130
CI推進室	029-862-6223	029-862-6212
技術情報室	029-862-6125	029-862-6130
産学官連携部門		
企業・大学連携室	029-862-6147	029-862-6148
地域連携室	029-862-6145	029-862-6146
連携業務第一室	029-862-6149	029-862-6151
連携業務第二室	029-862-6150	029-862-6151
知的財産部		
知的財産企画室	029-862-6153	029-862-6154
知的財産管理室	029-862-6155	029-862-6156
TLO	029-862-6158	029-862-6159
ものづくり基盤技術支援室	029-862-6166	029-862-6146
成果普及部門		
広報出版部		
広報室	029-862-6214	029-862-6212
出版室	029-862-6217	029-862-6212
研究成果情報部		
データ調査整備室	029-862-6883	029-862-6882
成果普及室	029-862-6224	029-862-6212
工業標準部		
工業標準企画室	029-862-6221	029-862-6222
工業標準準備室	029-862-6221	029-862-6222
国際部門		
国際関係室	029-862-6244	029-862-6249
国際交流室	029-862-6245	029-862-6254
研究セキュリティ管理部	029-862-6253	029-862-6254
安全保障輸出管理グループ	029-862-6252	029-862-6254
業務推進部門		
総括室	029-862-6004	029-862-6006
厚生室		
厚生チーム	029-862-6007	029-862-6006
共済チーム	029-862-6009	029-862-6006
能力開発部門		
人事室		
任用チーム	029-862-6282	029-862-6049
企画チーム	029-862-6283	029-862-6049
総括チーム	029-862-6284	029-862-6049
給与チーム	029-862-6285	029-862-6050
勤労室	029-862-6281	029-862-6049